

15 環境にやさしい、エネルギーと食生活を学ぶ (A・B)



団体名：東京ガス株式会社 神奈川支社

講座対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 小学生 (高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 地域一般
対応可能曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 休日 <input type="checkbox"/> その他 (曜日のみ)
対応可能時間	10時から15時までの間 (原則3時限目から6時限目)
講座実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面講座 → <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 工作 <input checked="" type="checkbox"/> 実験 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> 見学・体験 <input type="checkbox"/> オンライン講座 → <input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 工作・実験 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> 見学・体験
講座実施時間	1時限
実施条件、必要な準備等	・事前打ち合わせ要。大型TVモニターまたはスクリーンをご用意ください。

内 容	
<p>1. 講座の流れ</p> <p><A 燃料電池ってなんだろう? 左側> 火力発電の仕組みと課題 再生可能エネルギーの利点・欠点 (発電実験) 燃料電池の発電の仕組み (発電実験) 家庭・自動車での利用/火力発電に対する優位性</p> <p>2. 講座のお勧めポイント</p> <p>燃料電池は、水素と酸素から電気と熱をつくる、環境にやさしいエネルギーの利用方法です。 実験を通じて、エネルギーの有効利用や温暖化防止のために、自分たちにできることは何かを考えます。</p> <p>3. 楽しく学べる工夫</p> <p>再生可能エネルギー (風力・太陽光発電) の発電実験燃料電池の実物を使って発電し、LEDランプを灯したりオルゴールを鳴らす、プロペラを回す等実験をする。</p> <p>4. 学びのポイント</p> <p>(1) 燃料電池は、水素と酸素から電気と熱をつくる、環境にやさしいエネルギーの利用方法です。 (2) 発電時に二酸化炭素を出さず、また電気と熱を無駄なく使え、地球温暖化の原因のひとつである二酸化炭素の排出を削減できる。 (3) 大切な地球を守り続けるために、一人ひとりがエネルギーを上手に使う方法を考えるきっかけづくりになる。</p>	<p><B 食生活から学ぶSDGs 右側></p> <p>食生活と地球環境の密接なかかわり 買い物・調理・食事・後片付けのエコ・クッキングポイント 買い物・調理・食事・後片付けのポイントを映像とともに、詳細に説明</p> <p>SDGs への関心を深め、地球環境のために私たち一人ひとりができることを考えます。自分たちの身近な『食生活』をテーマに、だれもがすぐに実行できる環境に配慮した行動や工夫のポイントについて学びます。詳細に説明</p> <p>今世界的な問題になっている「地球温暖化」と食生活はなぜ関係あるのか、私たちの関わり方を、クイズや体験を交えて授業を進めます。</p> <p>(1) 食生活と地球環境は密接にかかわっています。それを踏まえて、環境に配慮した買い物・調理・食事・片付けを行なうことが重要です。 (2) エネルギー、水の浪費を防ぎ、フードロスや野菜くずなどのゴミの量を減らす取り組み。 (3) エコ・クッキングは毎日続けることが大切です。ご家庭で取り組んでみましょう!</p>

①この出前講座に関連する教科書の主な項目	小学校 4年生 (社会) 暮らしと電気 (選択) 5年生 (社会) 地球温暖化の防止に向けた自動車の開発 6年生 (理科) 電気と私たちの暮らし、地球に生きる 3～6年生 (社会) SDGs とつなげて考えよう 5、6年 家庭科 B 食生活
②主に関連のあるSDGsのゴール	     